

No.	14-5-2	場所	松川町生田 県道大鹿線の福与辻	次世代への継承キーワード	災害現象理解
名称	天竜川との合流点手前、6軒被災した場所の水防作業			河川	寺沢川
災害現象	応急対応・自衛隊			支流	
補足事項					

概要

松川町生田地区の斜面は、風化すると砂状になりやすい花崗岩からできている。降り続く雨により、いたるところで斜面が崩れ落ち、屋根筋の集落を残して被害は全域に広がった。間沢川、寺沢川、福沢川に流れ込んだ土砂は谷沿いの水田を呑み込み、大きな土石流となって、下流の福与地域をはじめ、天竜川沿いの集落に大きな打撃を与えた。

●被害状況の記録：

自衛隊の施設隊は行方不明者の捜索、道路改修、応急橋の架設工事等、泥まみれになり危険を冒しての作業を続行した。この地方では史上まれに見る大災害とあって、救助作業についても人力など小規模な事では手の施しようもないが、幸いにも自衛隊のあらゆる機動力をもって道路や橋などの応急復旧作業も急ピッチで進んだ。

特に生田地区においては道路や橋梁の被害は著しく、交通施設は全面的にマヒ状態の第一線へ施設部隊の活躍で橋梁の復旧に、またブルドーザーによる土砂の排除にと、炎天下や雨天を問わず汗と泥にまみれて懸命の作業が続けられた結果、日増しに復旧が進展し、重要幹線が開通した。

（「松川町史一第一巻 合併五十年のあゆみ」より）

記録

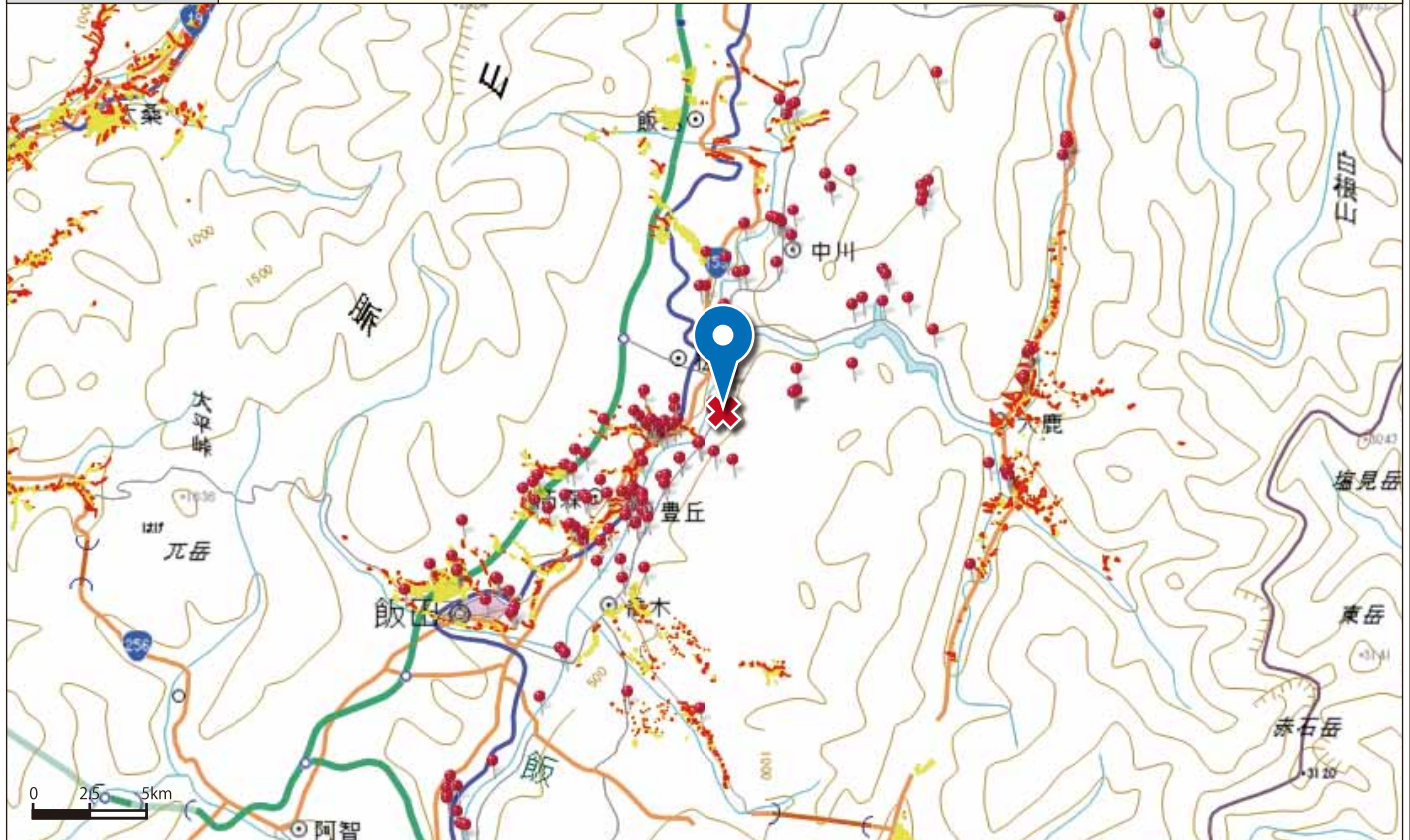


天竜川との合流点手前で6軒被災した場所の水防作業。上方は天竜川（右から左に流れている）。当時のブルドーザーは油圧装置がなく、排土板をワイヤーで上げ下げした。

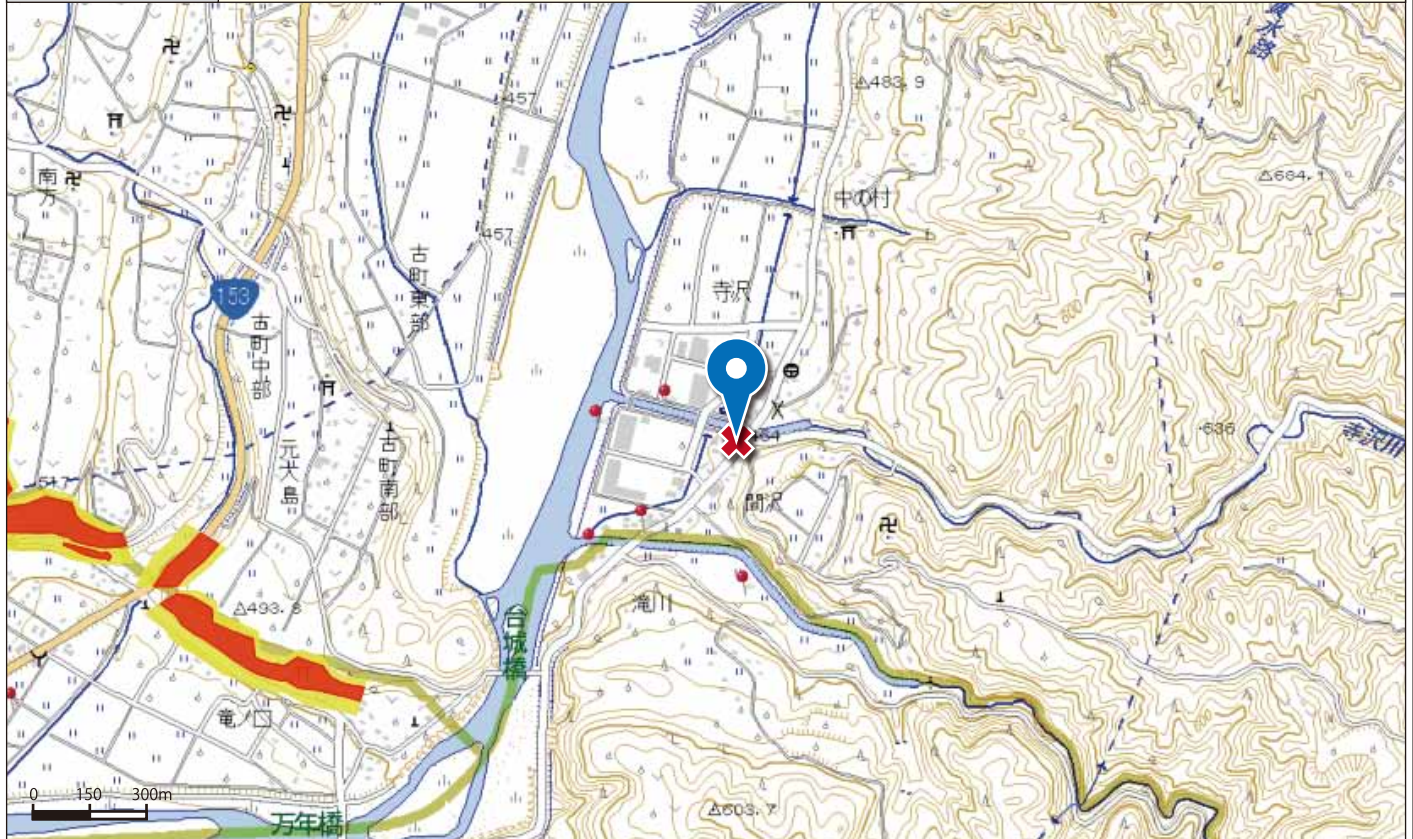
出典	「松川町史一第一巻 合併五十年のあゆみ」p.320	
備考		

No.	14-5-2	場所	松川町生田 県道大鹿線の福与辻	緯度	35.579766
名称	天竜川との合流点手前、6軒被災した場所の水防作業			経度	137.923050

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。